



TOP NEWS

萩生田文部科学大臣が本校の
図書宅配貸出しサービスを視察されました！！

4月24日(金)に萩生田文部科学大臣が休校中の学校図書館の取組事例の一つとして、高専の「宅配貸出しサービス」の取組を視察されました。

休校期間中、学生たちが困っているのではないかとの思いから、司書が発案し、学生の自宅学習を支援したり、自宅時間を有効に活用できるように、「宅配貸出しサービス」を実施しました。学生は、自宅にて高専HPの蔵書検索システム(OPAC)から利用したい図書を検索し、メールで希望図書を申込みます。貸出図書は、直接の接触回避や3密対策のため、学校の負担で学生の自宅へ配達され、学校再開後の返却としていました。現在はサービスを終了していますが、両キャンパス合計で受付件数125件、発送冊数298冊と大反響でした。

萩生田文科大臣からは、「休校期間でも立ち止まることなく学生の学びに対応していたに感謝する」とのお言葉をいただきました。

この取組は、文科省HPのほか、東京新聞や朝日新聞でも取り上げられました。

<文科省HP>

今日の出来事「東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパスを萩生田大臣が訪れ、図書の貸し出しサービス等について視察」

https://www.mext.go.jp/b_menu/activity/detail/2020/20200424_02.html

公式SNS等で注目された記事をご紹介します。

パイオニア株式会社のCSR活動に一環として「地頭開拓研修」を実施しました。

電子情報工学コース2年生が令和2年1月20日、2月3日、17日の3回にわたり、パイオニア株式会社の社員が講師・ファシリテーターを勤める「地頭開拓研修」を受けました。

これは、パイオニア株式会社で「社会をより良き場所へ」をテーマとし、ビジネスパーソン向けに実施しているものを、CSR活動として教育向けに展開したもので、「本質とは」「学びとは」など全14個の根源的な問いを4人組でディスカッションを行い、その結果をプレゼンテーションするサイクルを繰り返します。学生たちは、普段とは違う「社会人の先生からの授業」という環境や抽象的・哲学的な問いによりいつもとは違う脳が刺激された様子で、ユニークな意見が多数交わされていました。また、自分の考えを発信することで意見の相違が発生し議論が展開していく過程が、ダイバーシティの観点でのアクティブラーニングにもつながったほか、仲間の新しい側面を発見しあう機会にもなりました。

講師の方から「40人の学生と一人の人間として向き合う貴重な体験になりました。学生たちの笑顔や真剣な顔を思い出す度に、2回3回とつなげていきたいと思えます。」とお言葉をいただきました。



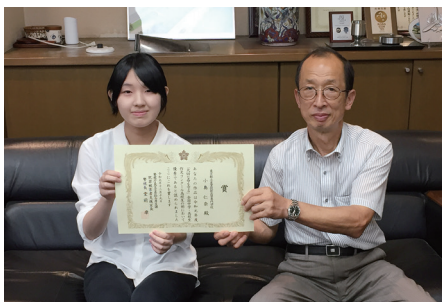
▲白熱したディスカッションを展開

「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール
警察庁犯罪被害者支援室長賞を受賞！！

令和元年7月、荒川キャンパス2・3年生を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」を実施しました。その感想も含めて命の大切さに関する自分の考えや意見について作文し、コンクールに応募しました。その中から、現在荒川キャンパス情報通信工学コース3年生の小島仁奈さんが警察庁犯罪被害者支援室長賞を受賞しました。本来なら、昨年度中に表彰される予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、遅れての表彰となりました。南千住警察署にて、吉野署長より直接賞状を授与されました。翌日には渡辺校長へ受賞の報告をしました。



▲左：南千住警察署 吉野署長 右：小島仁奈さん



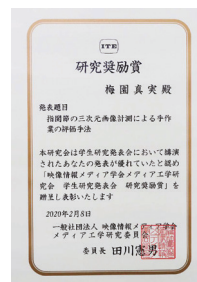
▲渡辺校長への受賞報告の様子

映像情報メディア学会学生研究発表会
において研究奨励賞を受賞！！

専攻科電気電子工学コース(当時1年生)の梅園真実さんが、令和2年2月8日に開催された映像情報メディア学会学生研究発表会において研究奨励賞を受賞しました。本発表会では、27件の研究が発表され、梅園さんは大学生や大学院生と競い、見事に受賞しました。今回の発表題目は「指関節の三次元計測による手作業の評価手法」であり、埼玉大学大学院の小室研究室との共同研究成果となります。夏休みのインターンシップから継続してきた研究の成果が実を結んだ結果となりました。



▲受賞した梅園真実さんと賞状



本校公式コンテンツリンク集

